# 第128期(平成14年3月期)決算の特徴

株式会社 静岡中央銀行

## 【利益の状況】

経常収益 10,158百万円 前年比 65百万円の微減

貸出金利息は貸出平残の増加により前年比 104 百万円増加、しかし有価証券収入が市場金利の低下により前年比 2 3 7 百万円減少したことなどにより、経常収益は前年比 0 . 6 % 65 百万円の減収となりました。

預貸金利益 7,676百万円 前年比 +334百万円の増益

コアの業務純益 2,465百万円 前年比+8.5% +195百万円の増益

業務純益 1,687百万円 前年比 711百万円の減益

貸出金利息の増加と預金利回りの低下による預金利息の減少により、本業の預貸金利益は 前年比334百万円増益の7,676百万円となりました。

預貸金利益が増加したことにより、一般貸倒引当金繰入前で国債等債券損益(5勘定尻)を除いた、コアの業務純益は2,465百万円前年比+8.5% +195百万円増益となりました。しかし、株式市場の低迷による減損処理の実施により国債等債券関係損益が 699百万円前年比 469百万円となったことと、一般貸倒引当金繰入額が前年比 437百万円増加したことにより、業務純益は前年比 711百万円減益の1,687百万円となりました。

経常利益 1,144百万円 前年比 446百万円の減益

当期純利益 663百万円 前年比 381百万円の減益

業務純益は 7 1 1 百万円減少しましたが、個別貸倒引当金純繰入額が前年比 3 0 1 百万円減少したことにより、経常利益は前年比 4 4 6 百万円の減益にとどまり 1 , 1 4 4 百万円となりました。

これにより当期純利益は前年比 381 百万円減益の663百万円となりました。

## 【時価会計の影響】

### 減損会計による期間損益への影響

30%以上下落した有価証券のすべてを償却、846百万円減損実施

当期末の時価が簿価に比べて30%以上下落した有価証券のすべてを償却、株式で207百万円、債券等で638百万円 計846百万円の減損処理を実施しました。

「有価証券」の評価差額 + 2 , 4 6 5 百万円

「その他有価証券」についてもすでに前年より1年前倒しでの時価会計を適用しています。 株式市場の低迷により、当期末の評価差額は前年比 1,376百万円減の+2,465百万円 となりました。

## 【自己資本比率(速報値)】

自己資本比率(国内基準:単体ペース) 11.40%

Tier1 自己資本比率(国内基準:単体ペース)は9.65%

自己資本比率(単体ペース)は前年比0.33%改善され11.40%になり、国内基準である4%の3倍弱という水準を維持しております。

また基本的項目である Tier1 のみでも 9 . 6 5 %と国内基準である 4 % の 2 倍以上の水準です。 尚、連結 ペー ス では 1 1 . 4 3 % です。

## 【預貸金の状況】

消費者ローン残高 前年比 + 1 7 . 5 % 8 , 2 4 4 百万円増加

住宅ローンを中心とした消費者ローンを積極的に推進した結果、消費者ローン残高は前年比+17.5%8,244百万円増の55,186百万円となり、内住宅ローン残高は前年比+9.6%3、924百万円増の44,722百万円となりました。

しかし設備投資など企業の資金需要が低迷した結果、企業取引においても新規開拓を中心に積極的に推進してまいりましたが、貸出金残高全体では前年比 0 . 1 % 3 3 5 百万円微減の 3 2 4 , 4 2 5 百万円となりました。

#### 個人預金残高 前年比 + 3.8% 9.871百万円増加

良質で安定的な取引基盤の拡大を図るため個人預金に重点を置いた営業活動を積極的に 推進した結果、個人預金は前年同期比 + 3.8 % 9,8 7 1 百万円増の 2 6 8 ,5 6 8 百万円となり ました。

個人預金の増加により、預金残高全体でも前年比 + 3 . 4 % 1 2 , 3 8 4 百万円増の 3 7 1 , 7 2 8 百万円となりました。

## 【不良債権の状況】

リスク管理債権、金融再生法開示基準による不良債権とも総貸出金、

総与信に占める割合は4.1%台

資産の健全性の向上を目指し貸出金など常に留意した取組を実施した結果、企業が業況 悪化する中、不良債権比率は平成 13 年 3 月末より減少しました。

又、不良債権処理につきましては、厳正な自己査定を行なったうえで適正な処理を積極的に実施しています。

#### 《リスク管理債権》

単位:百万円

	平成13/3月末	平成13/9月末	平成14/3月末
リスク管理債権合計	14,569	13,313	13,353
総貸出金に占める割合	4.48%	4.12%	4.11%
担保・保証等によるカバー率	8 7.0 7 %	8 5 . 2 2 %	8 4 . 2 7 %

#### 《金融再生法開示債権》

単位:百万円

			1 12 1 17 17
	平成13/3月末	平成13/9月末	平成 1 4 / 3 月末
開示債権合計	14,594	13,346	13,377
総与信に占める割合	4.46%	4.11%	4.10%
担保・保証等によるカバー率	87.09%	8 5 . 2 5 %	8 4 . 3 0 %